

2009年7月12日主日礼拝

司 会	①沼田兄	②藤樫兄	③高木美兄
祈 禱	①水間兄	②川田兄	
賛 美	讃美歌338番 (536番) (あなたのみ前には)		
十 戒	(出エジプト記20章1～17節)		
聖 書	① 使徒行伝7章54～60節 ②③ マルコによる福音書12章28～34節		
音 楽	① 坪井永城師 ②③ New Life Forever		
メッセージ	① 「神はぼくを棄てない」 大川従道牧師(V) ②③ 「G線上のクリスチャン」 倉知契副牧師		
賛 美	「みくににすまいを」(638・献金)		
頌 栄	「シャローム」		
祝 禱			

「心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、
力をつくして、主なるあなたの神を愛せよ」。
(マルコ十二の三十)

石の枕

「心をつくして主に信頼せよ、自分の知識にたよってはならない。すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる」(箴言3の5)

150年に一度の大イベントは、主のあわれみにより、大盛況で幕を閉じた。最後は「派遣礼拝」であった。終わりではなく前進を意味する。一人びとりはキリストの証人である。聖霊様をいただいて大胆に福音を生きる者でありたい。

ご奉仕をされた人々、犠牲を払って参加された人々はすでに主からの報いを受けているが、本当にご苦労さまでした。心からお祈りとご協力感謝いたします。忘れないように「1859年」は「イヤーご苦労さん！」とおぼえる。

次は200周年記念大会だ。私は確実にこの世にいない。次世代の皆様！深い自覚をもって尊い使命を果して下さい。天から地上の活躍を見るのも乙なもの。ハラハラしながら下界を見て祈るのも天に召された者の特権だ。

ひとつだけ警告しておきます。「大和カルバリーチャペル」は、国の内外で有名になってしまった。それはありがたいことではあるが危険もある。決して高慢にならず、いつほめられても「神の恵み」であり「祈りを通して聖霊様が働いて下さった教会」であることを自覚し、いつも、常に栄光を主に帰す習慣をつけて下さい。「愛は高ぶらない、誇らない」ですよ。

私の説教の夜に、「百才の大島牧師」とお交わりを得た。その前夜は「97才」の日野原先生と2時間もご一緒した。隣席での会話は一生の思い出であり長寿のコツ(骨は折れるが?)を伝授された。

あの晩の河ヨンジョ先生の血の出るようなメッセージは、1メートル内に居て、血のたぎる思いがした。まさに生きていて肉に死んでおられる。ガラテヤ2の19、20のレベルだと思った。あのメッセージを主からのものとして受けとめた人は、必ず変わる。日本の国も変革されねばならない。なお熱く祈って行こう。私のために祈って下さり、この教会全体が、熱く燃えて、救霊のために闘ってほしい。

「祈りの勇者・小林ヨシミ姉」が主のもとに召された。35年余も忠実に主に仕えてくださった聖徒である。告別・前夜式は12日(日)夜6時。告別・出棺式は13日(月)朝10時。いずれも泉チャペルにて行います。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:使徒行伝17章～20章 Bコース:詩篇7篇～27篇

【大和ニュース】

- ・「宣教150周年記念大会」への祈り、奉仕、献金等を心から感謝します。
- ・本日、入門講座Ⅱ(9時)、SS主任、YYタイム(12時半・森チャペル)あり。
- ・今週の祈禱会も大切に！リバイバルを祈りましょう。説教は大川牧師。
- ・福音礼拝は、火曜昼2時～3時。説教は坪井永城師。
- ・準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は倉知契師。
- ・英語礼拝は、土曜夜6時50分。説教はRev. Cordeiro。
- ・土曜スクールは土曜朝9時半。「ドルカス会」は木曜昼食後。
- ・来週は「宣教礼拝」。説教は榎原寛先生。お誘い合わせてご出席下さい。